

静岡県精神保健福祉センター 〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20 静岡総合庁舎 別館4階
TEL:054-286-9245 FAX:054-286-9249 <http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-845/tayori-syohou.html>

<目次>

- ◆P1 巻頭挨拶
- ◆P2 <報告> ふじのくにゲートキーパー養成研修
- ◆P3 新任職員の声
- ◆P4 令和4年度研修計画



<巻頭挨拶>

静岡県健康福祉部障害支援局長 森岡克明

本年4月から障害者支援局長に就任した森岡克明と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束が見通せない状況が続いております。皆様には引き続き、基本的な感染防止対策の励行をお願い申し上げます。

県では、本年3月にふじのくに障害者しあわせプラン(第5次静岡県障害者計画)を策定いたしました。“障害のある人が分け隔てられない共生社会の実現”を基本目標とし、民間事業者による合理的配慮の促進や親亡き後の地域生活継続の仕組みづくりなどに重点的に取り組んでまいります。

共生社会の実現に向けては、様々な課題が山積しております。誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、障害に対する理解と相互交流の促進、地域における自立を支える体制づくり、多様な障害に応じたきめ細かな支援など、プランの推進に全力で取り組んでまいりますので、今後とも皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。



静岡県健康福祉部障害福祉課精神保健福祉室長 大石晴康

本年4月に精神保健福祉室長に着任した大石晴康と申します。精神保健福祉を担当するのは初めてとなります。よろしくお願いいたします。

本年度は、令和5年度を始期とする「第3次いのちを支えるふじのくに自殺対策行動計画」を策定することとなります。県内の自殺者数は、平成22年の854人をピークに減少傾向にあり、令和3年では539人(速報値)となりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化に伴う経済・社会活動の制限、社会的孤立等の影響から、自殺の要因となりがねない経済、雇用、暮らし、健康問題等の悪化による自殺リスクの高まりが懸念されております。特に、10代・20代の自殺死亡率が高止まりしているという事実を受け止め、これまで以上に若年層に向けた対策を進めていく必要があると考えております。

引き続き、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向けて取り組んでまいりますので、御協力いただきますようお願いいたします。



<報告>ふじのくにゲートキーパー養成研修(専門及び講師養成)



令和4年6月23日(木)に、自殺対策を担当する行政職員等を対象として、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる「ゲートキーパー」*を養成する研修を実施しました。

「専門研修」はゲートキーパーの技術の中でも、問題の抽出・解決・連携した対応等の技術の修得を目的とし、「講師養成研修」は専門研修を修了後、講師となってゲートキーパーを養成する人材育成を目的としています。

専門研修で知識を得て、続けて講師の役割や研修で伝えるポイントを知ること、受講者がより講師として話をするイメージを持ち、各地域で活躍していただくことを期待しています。

ゲートキーパーの役割



気づく

家族や仲間の変化に気づく
大切な人の様子がいつもと違いますか？

声をかける
聴く

悩んでいることに気づいたら…
勇気をだして声をかける
本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

つなぐ

早めに専門家に相談するよう促す

見守る

あたたかく寄り添いながら、
じっくりと見守る
自分を気にかけてくれている人がいるという
ことは、とても勇気づけられるものです。

※「ゲートキーパー」とは、日本語にすると「門番」という意味で、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。



★受講者の感想

- ・自殺に対して良い悪いの判断をするのではなく、一緒にそのことについて考えることが大事だと分かった。
- ・最初は難しいと思うが、相談先を確認したり、周囲に相談して対応していきたい。
- ・今回学んだリスク評価の整理をしながら、傾聴をして次のステップや他の窓口へ繋げていきたい。



ロゴマーク知っていますか？



いのち支える

左のロゴマーク『いのち支える』は、自殺対策のシンボルマークとして、厚生労働省自殺対策推進室がデザイン・作成しています。

人の横顔を4つ配置し、ゲートキーパーの役割となっている「気づき」「傾聴」「つなぎ」「見守り」を表しています。人のつながりが「いのち支える」というメッセージとして表現しています。





新任職員の声



本年4月から静岡県精神保健福祉センターに配属となりました。前職では、障害福祉サービス事業所や精神科病院で精神保健福祉士として、精神疾患や障がいに悩む方、その御家族への相談支援業務に携わりました。当事者と関わる中で、精神科医療機関への受診や障がいというワードに抵抗を持ち、納得のいかない入院や治療をした経験を聴く機会が多々あり、当事者が納得して医療や福祉サービスを受けられることが当たり前になると良いと漠然と感じました。



精神保健福祉センターでは、依存症対策、ひきこもり支援、自殺対策と多岐にわたる事業があり、私は精神医療審査会事務局を担当しております。精神医療審査会は医療保護入院や措置入院の判定に関わる精神科入院における人権擁護の最後の砦です。これまで当事者の方々からいただいた多くの想いを忘れず適正な審査に携わっていきたいと考えております。

みなさんこんにちは。私は保健師として働いています。昨年度は下田市にある賀茂健康福祉センターでコロナやHIV、肝炎等の感染症への対応をしていました。今年度から精神保健福祉センターに異動となり、現在は主にひきこもり支援をしています。



精神保健業務を担当するのは初めてなので、うまく対応できるか少し不安な気持ちで異動して来ました。実際に相談業務でうまく対応できずにつらく感じることはありました。しかし、仕事をしていくうちに一番つらくて苦しいのは本人や家族ではないかと少しずつ感じるようになりました。誰にも相談できなくて悩んでいる人が、やっとの思いで相談してくれることも少なくありません。その相談者に寄り添って対応することが期待される役割だと思います。

役割を遂行するためには、少しでも相手のことを理解することが大切だと思っています。相手のことを知り、適切な支援を行えるように様々な経験の中で知識や技術、人間性を磨いていこうと思います。頑張っていくので、よろしくお願いします。





静岡県精神保健福祉センター 令和4年度研修計画

令和4年8月以降の
研修予定

研修名		対象	目的	日程及び会場
ひきこもり	ひきこもり支援従事者養成研修	行政、社会福祉協議会等でひきこもり支援に関わる者	CRAFT を学び、ひきこもりの理解を深め、家族支援の方法を学ぶ。事例検討、情報交換も行う。	令和4年9月9日(金) (静岡総合庁舎、オンライン)
	ひきこもり講演会	一般県民、行政、社会福祉協議会等でひきこもり支援に関わる者	静岡県内でも年々相談件数が伸びているひきこもり問題について正しい知識や対応方法を学ぶ。	令和4年10月3日(月) (静岡総合庁舎、オンライン)
自殺対策	ゲートキーパー講師フォローアップ研修	ゲートキーパー講師養成研修を受講し、ゲートキーパー養成研修の講師を務める者	ゲートキーパー研修受講者の理解を深める研修の進め方、内容の充実等、研修実施に係る技術及び研修内容の向上を図る。	未定
	自殺未遂者ケア研修	精神科医療機関の医師、看護師、精神保健福祉士、保健所職員等	精神科医療関係者に対して、改めて自殺未遂者ケアの基本及び対応の流れを学ぶ研修会を開催し、対象者が自殺未遂者ケアについてのスキルアップを図ることにより、自殺予防に資する。	令和4年11月13日(日) (静岡総合庁舎 予定)
	若年層自殺対策研修	若年層の自殺予防対策に関わる者	地域で若年者支援に取組めるよう、現代の若者の現状や若年層の心理的特性等について共有し支援のあり方を考える。	令和5年2月頃(予定)
	自死遺族支援者研修	行政職員、医療機関職員等	自死遺族支援についての理解を深め、日常業務に生かす。	令和4年11月25日(金) (静岡総合庁舎)
災害	災害時のメンタルヘルスケア研修会	市町及び県健康福祉センターの職員	市町及び県健康福祉センターの職員が災害時の心のケアの基礎知識及び対応等を学び、自らの機関の支援や役割を考え、今後の業務に活かす。	未定
依存症	依存症問題従事者研修	依存症を抱える人や家族の相談支援に従事する者	依存症に関する理解を深め、相談対応力の向上を図り、地域で依存症を抱える人を効果的に支援できるようになる。	令和4年8月16日(火) (オンライン)
	アルコール問題を抱える家族への講演会	アルコール問題を抱える家族	アルコール問題を抱える当事者や家族に知識を普及し、早期に専門機関につながることを。	令和4年10月31日(月) (中遠総合庁舎)
こころの緊急支援活動研修		学校関係者、医療機関職員、行政職員等	学校等における危機発生時に児童生徒等のこころのケアを実践できるよう、学校現場や関係機関等の職員がこころの緊急支援活動に関する基礎的な知識を習得し、活動の実際について体験する。	未定 (オンライン)

実施日が未確定の研修については、時期及び会場を変更する場合がありますので、御承知おきください。
研修内容については、各研修の開催通知で確認をお願いします。

